



2026年度 第1四半期業績



新たな時代の幕開け:

タケダの次なる成長フェーズ

2026年度 第1四半期



成長ロードマップ— 2つの成長段階 (Horizon)

HORIZON 1

成長に向けた変革

- 3つの新薬上市
- 強固な後期開発パイプラインを推進
- 既存主力製品の収益基盤としての安定性を確保
- トランスフォーメーション・プログラムを推進



HORIZON 2

成長の加速

- 上市製品群の規模拡大によって売り上げ収益を最大化
- 後期開発パイプラインから次の新製品群を上市
- 新たな治療薬候補を継続的に創出
- 先進技術により効率性を向上



今後数カ月で上市予定の3つの新薬候補

ORZEYFUL™

ニューロサイエンス（神経精神疾患）

ナルコレプシータイプ1治療薬

- 中国にて承認済み、米国および日本で承認申請済み

上市予定：2026年（下期）

rusfertide

オンコロジー

真性多血症治療薬候補

- 米国にて承認申請済み

上市予定：2026年（下期）

ザソシチニブ

消化器系・炎症性疾患

乾癬治療薬候補

- 米国での承認申請に向けて順調に進捗

上市予定：2027年（上期）



さらに5つの後期開発品をはじめ、後期開発パイプラインは進展

メザギタマブ

IgA 腎症 /
免疫性血小板減少症

elritercept

貧血を伴う
骨髄異形成症候群（2次治療）

fazirsiran

α -1アンチトリプシン
欠乏症肝疾患

TAK-928

2L 既存免疫療法/化学療法耐性
扁平上皮非小細胞肺癌
（2次治療）

TAK-921

胃がん（3次治療以降）

ORZEYFULは、中国においてoveporextonに対して承認された販売名です。

ORZEYFULの表記は、一貫性を保つことのみを目的としたものであり、本剤が規制当局による審査中である国または地域において、販売承認または販売名の承認が得られたことを示すものではありません。



強固な事業基盤により、イノベーションへの投資を続け、
世界中の患者さんへの貢献を拡大

2026年度 第1四半期



未来への投資を支える、既存主力製品および新製品

既存主力製品
+2.3% (CERベース)

上市后6年以上経過し、年間売上高が
1,000億円超であり、積極的に情報活動
が行われている特定の製品

新製品
+22.6% (CERベース)

過去5年以内に上市された特定の製品
および近い将来に上市予定の製品



TAKEDA CAPITAL MARKETS DAYを開催予定

2026年12月11日 (金) 8:30 – 15:00 (日本時間) 武田薬品工業 グローバル本社
今後の成長加速に向けた長期的な構想と戦略について紹介



業績

2026年度第1四半期業績 (2026年4 - 6月)

Core 売上収益 1兆2,199億円

Core 営業利益 3,589億円

Core EPS 154円

既存主力製品において堅調な需要が継続し、ガイダンスに
沿った堅実な第1四半期業績を達成

2026年度見通し – 成長投資に注力する一年

Core 売上収益 4兆6,400億円

Core 営業利益 1兆1,600億円

Core EPS 472円



当四半期の堅調な業績は、2026年度の良いスタートを示すものであり、
通期目標の達成に向けて着実に前進しています。

— ジュリー・キム代表取締役社長 CEO



本プレゼンテーションには、当社の将来の事業、将来のポジションおよび業績に関する将来見通し情報、理念又は見解が含まれています。重要な注意文言を含む、当社の将来に関する見通し情報に関する詳細については、当社の2026年度第1四半期業績の投資家向けプレゼンテーション

(<https://www.takeda.com/jp/investors/financial-results/quarterly-results/>) をご参照ください。ここに記載されている情報は、開発品を含むいかなる医療用医薬品の効能を勧誘、宣伝又は広告するものではありません。

CER (Constant Exchange Rate : 恒常為替レート) ベースの増減は、当期の国際会計基準 (IFRS) に準拠した業績またはCore財務指標 (Non-IFRS) について、前年同期に適用した為替レートを用いて換算することにより、前年同期との比較において為替影響を控除するものです。ただし、超インフレが発生し、IAS第29号「超インフレ経済下における財務報告」が適用されている子会社の業績を除きます。

Core売上収益、Core営業利益、Core当期利益 (親会社の所有者帰属分)、Core EPS、CER (Constant Exchange Rate : 恒常為替レート) ベースの増減、純有利子負債、調整後純有利子負債、EBITDA、調整後EBITDA、フリー・キャッシュ・フロー、調整後フリー・キャッシュ・フローは、IFRSに準拠しない財務指標です。投資家の皆様におかれましては、IFRSに準拠しない財務指標につき、当社の2026年度第1四半期決算の投資家向けプレゼンテーション

(<https://www.takeda.com/jp/investors/financialresults/quarterly-results/>) の末尾にある財務補足情報を参照の上、その定義と、これらに最も良く対応するIFRS準拠財務指標との調整表をご参照くださいますようお願い申し上げます。